



JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器

具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

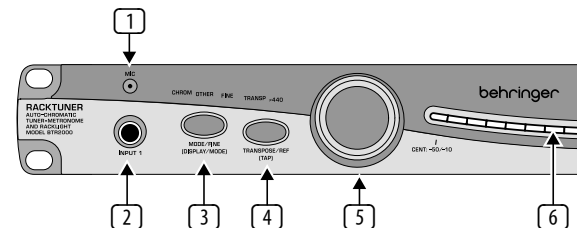
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC GROUP は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、TURBOSOUND、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC GROUP IP LTD. の商標または登録商標です。©MUSIC GROUP IP LTD. 2015 無断転用禁止。

限定保証

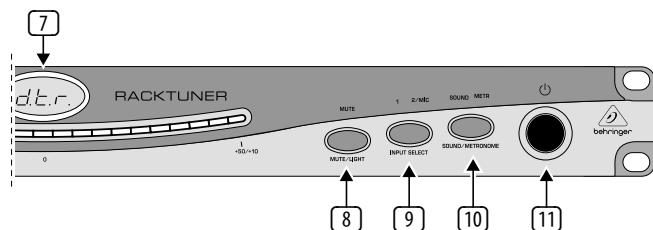
適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

JP

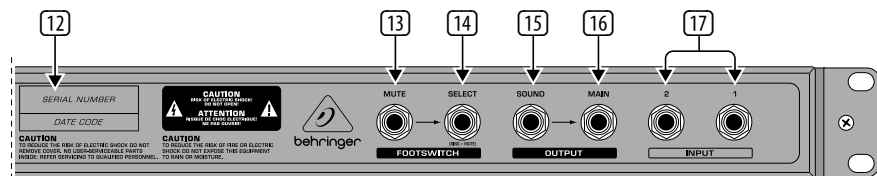
RACKTUNER BTR2000 コントロール



BTR2000 の左側にあるサービスの要素



BTR2000 の右側にあるサービスの要素



BTR2000 のリヤサイドにある通し番号と接続

コントロール

- ① 取り付けられたマイク MIC は、楽器の調律と標準音高 "A" の階級づけに使用されます。INPUT 2 を選択し、MUTE ボタンを必ず押してください。
- ② BTR2000 のフロントサイドにある INPUT 1 ソケットに楽器を接続することができます。このソケットは、機器の側面にある INPUT 1 ソケットよりも重要です。
- ③ **MODE/FINE [DISPLAY/MODE]** ボタン
チューナーモード：ボタンを短く押すと、回転式ホイールで調律モード (例えば、ギター、バス) が選択できます。
ボタンを長く操作することにより、1 Cent/LED と 5 Cent/LED 間の LED -チェーンの段階づけが切り替えられます。
メトロノームモード：これらのボタンを押すことにより、明滅信号と指針のシミュレーション間のメトロノームの表示様式が切り替わります。
- ④ **TRANSPOSE/REF [TAP]** ボタン
チューナーモード：短く押すことによって、回転式ホイールにおける移調を調節することができます。ボタンを長く操作することにより、標準音高 "A" を測定できます。
メトロノームモード：BTR2000 は、[TAP] ボタンが少なくとも 4 回リズムに合わせて押されるとテンポを認識し、それを貯えることができます。
- ⑤ 回転式ホイールで様々な機能のパラメーターが変更できます。例えば、メトロノームの BPM または標準音高 "A" の周波数が調節できます。ホイールと一緒に編集可能な機能の LED が点滅します。

- ⑥ **LED チェーン**
チューナーモード：楽器の調律において、LED チェーンは、演奏された音が理想からどの程度外れているのかを説明します。表示の段階づけは、7 50 Cent から 7 10 Cent に切り替えられます。
メトロノームモード：メトロノームのグラフ表示は、LED チェーンを使用することにより現実となります。
- ⑦ 多くの値 -チューナーモード、音の高さ、BPM -は、ディスプレイに表示されます。
- ⑧ **MUTE/LIGHT** ボタン
BTR2000 は、ラック照明が施されています。長時間 MUTE/LIGHT ボタンを押すことにより、スイッチを入れたり切ったりすることができます。
チューナーモード：MUTE/LIGHT ボタンを短く押すことにより、MAIN アウトレットはそのままスイッチが切り替わります。
メトロノームモード：チューナーモードと違って、MUTE/LIGHT ボタンを短く押すことによりメトロノームの音だけが切り替わり、全体の MAIN アウトレットは切り替わりません。楽器は、そのまま聴くことができます。
- ⑨ **INPUT SELECT** ボタン
チューナーモード：用途に応じて BTR2000 では様々なアウトレットが割り当てられるまたは連結される必要があります。両方のチャンネル間の切り替えは、INPUT SELECT ボタンを押すことにより行われます。
メトロノームモード：このボタンを動かしてメトロノームをスタートしないしはストップさせます (アコースティックおよび光学的な表示)。
- ⑩ **SOUND/METRONOME** ボタン
チューナーモードとメトロノームモード間でスイッチを切り替えるためには、SOUND/METRONOME ボタンを長く押す必要があります。

チューナーモード：ボタンを短く押せば、参照音のスイッチを入れたり切ったりすることができます。参照音の音は、回転式ホイールで変更できます。

メトロノームモード：SOUND/METRONOME ボタンを短く押すことにより、メトロノームの音が回転式ホイールで調節できます。

- ⑪ **POWER** ボタンにより BTR2000 を動かします。機器を回路網から離すために、交流用プラグを引っ張ってください。機器が動き出したら、交流用プラグに簡単に手が届くことを確認してください。機器をラックにはめ込む場合は、回路網からの取り外しがプラグまたは回路のスイッチにより簡単に行えようにしてください。

⑫ し番号

- ⑬ **MUTE**
6.3-mm モノジャックソケット MUTE に簡単なペダル (例えば、BEHRINGER DUAL A/B SWITCH AB200) を接続することができます。

- ⑭ **SELECT**
6.3-mm ステレオジャックソケット SELECT に二重のペダル (例えば、BEHRINGER FS112) を接続することができます。

- ⑮ **SOUND**
SOUND ソケットで機器から作られた音 (参照音、メトロノームの音) を測定することができます。

- ⑯ **MAIN**
BTR2000 をケーブルでつなぐことにより、MAIN ソケットで機器から作られた音と楽器の信号を、または、楽器の信号だけを測定することができます。

- ⑰ **INPUT 1 および INPUT 2**
INPUT 1 ソケットと INPUT 2 ソケットに1つまたは2つの楽器を接続します。INPUT 2 が接続された場合に限って、取り付けられたマイクを使用できます。

JP 技術仕様

Audio Connectors	
INPUT 1	¼" TS connector on the front and back
Input impedance	1 MΩ, relay hard bypass
INPUT 2	¼" TS connector
Input impedance	1 MΩ, buffered
SOUND	¼" TS connector
Output impedance	4.5 kΩ
MAIN	¼" TS connector
Output impedance	500 Ω
Connector for Footswitch	
MUTE	¼" TS connector
SELECT	¼" TRS connector
Tuner	
Scale	12 equally tempered notes
Frequency range	27.5 Hz to 4186 Hz
Reference tone for manual or automatic calibration	440 Hz ±12 Hz
Display scale	±50 Cent (±0.5 half steps)
Display resolution	±1 cent, ±5 cents
Metronome	
Tempo range	30 BPM - 240 BPM
Racklight	
Illumination	4 x LED, 5 mm, white
Power Supply	
Power Range	
USA/Canada	120 V~, 60 Hz
China	220 V~, 50 Hz
Europe/U.K./Australia	240 V~, 50 Hz
Japan	100 V~, 50 - 60 Hz
Power consumption	9 W
Dimensions/Weight	
Dimensions (H x W x D)	approx. 44 x 483 x 105 mm (1.7 x 19 x 4.1")
Weight	approx. 1.2 kg (2.6 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の

選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くになく、または、behringer.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができません。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You